お知らせ

HITACHI

2026 年 9 月 25 日

日立、日本企業で初めて Tokenomics Foundation に加盟し、企業の AI 投資の成果評価や価値管理の標準化を推進

効率的で持続可能な AI 活用によるビジネスの AX を促進

[tokenomics]
Foundation

株式会社日立製作所(以下、日立)は、このたび、The Linux Foundation が設立した新組織「Tokenomics Foundation(トークノミクス ファウンデーション)」(以下、本組織)に、日本企業で初めて加盟しました*1。本組織は、AI 利用コストの基本単位であるトークンといった指標を活用し、AI におけるエネルギー・資本の投入、コスト、価値の可視化に注力し、企業が AI 投資の経済的価値を適切に評価できるようにします。具体的には、業界標準の整備やビジネス価値創出につながるベストプラクティスの策定を推進します。日立は、グローバル企業向けの DX とシステム運用支援のノウハウを有する米国グループ会社 Hitachi Digital Services とともに、企業の AI 投資の成果評価や価値管理に関する標準化活動に貢献していきます。これらの活動を通じて、お客さまの効率的で持続可能な AI 活用によるビジネスの AX(AI トランスフォーメーション)を促進していきます。

近年、複数の AI エージェントを協調させて業務を行う Agentic AI の発展に伴い、企業での活用が検証段階から本番段階へ移行しつつあります。AI によるビジネス効果が期待される一方で、AI のトークン消費量が急速に拡大し IT 予算を圧迫し始めており、AI の投資対効果の評価の必要性が高まっています。しかし現状では、異なる AI モデルやベンダー間において、効率性や経済性を測定・比較するための標準規格が存在しておらず、適切なコスト管理や投資対効果の評価や最適化の手法の確立が課題となっています。本組織は、これらの課題を解決するため、テクノロジー価値管理に関するベストプラクティスを確立してきた FinOps Foundation*2 とも連携しながら、AI の経済的価値を的確に管理するための標準化フレームワークやベストプラクティスを提供します。

日立はこれまでも、社会インフラ事業の経験から培われた安全性や信頼性の知見を活用し、クラウド利用のコスト評価とビジネス価値の最大化を実現する FinOps などの OSS コミュニティ活動*3 や、標準化の取り組みをけん引してきました。
加えて、2026 年 2 月には、The Linux Foundation 傘下で、Agentic AI の透明性と標準化を推進する「Agentic AI Foundation(以下、AAIF)」に参画*4 し、同年 6 月には日立の社員が AAIF アンバサダーに就任*5 するなど、AI を安全・安心に活用するためのアクセス権限管理や認証・認可の世界規格の実装をリードしています。これらの知見を本組織での活動に生かし、複雑で断片化された環境で複数の AI を利用する際の最適化手法など、AI 投資の成果評価の標準化やベストプラクティスの拡充に貢献していきます。

また、日立は AI で社会インフラを革新する日立の次世代ソリューション群「HMAX by Hitachi (以下、HMAX)」の共通サービスの 1 つとして、安全な自律運用を支える「HMAX AI Operations」を提供しています。このサービスは、企業が AI エージェントを本番環境で安全かつ効果的に活用するための「Hitachi Application Reliability Centers (HARC) for AI」などの実績とアセットも活用し、性能やセキュリティ、コストなどの継続的な観測と改善を行うものです。今後、本組織で得

られた AI コスト最適化に関する最先端の知見を積極的に取り込み、サービスを継続的に高度化していきます。これにより、価値創出の最大化と運用コストの削減を実現し、安全・安心で信頼性の高い社会インフラの発展に貢献していきます。

*1 Linux Foundation 発表: Linux Foundation Launches the Tokenomics Foundation to Define the Economics and ROI of AI Value (2026.8.4)
*2 ベストプラクティス、教育、標準を通じて、クラウド財務管理を実践する人々を支援する Linux Foundation のプロジェクトで、Cloud Native Computing Foundation などの組織と連携しており、34,000 社以上の企業から参加する 120,000 人以上のコミュニティを擁する団体
*3 Web ページ Hitachi OSPO の活動
*4 お知らせ "日立、日本企業で初めて Agentic AI Foundation に加入し、AI のアクセス権限管理の標準化を支援" (2026.3.10)
*5 お知らせ "日立の社員が、初代 Agentic AI Foundation アンバサダーに就任し、日本初開催「AGNTCon ＋ MCPCon Japan 2026」でキーノート登壇" (2026.8.24)

J.R. Storment 氏 (Executive Director of the Tokenomics Foundation)コメント

日立を Tokenomics Foundation のメンバーとして迎えられることを大変光栄に思います。日立は、日本企業のみならずグローバル企業が、テクノロジーへの投資を測定可能なビジネス価値へと結び付ける方法について深い知見を有しており、Tokenomics Foundation にとって理想的で価値ある企業です。企業が AI を効率的かつ継続的に、そして大規模に活用するための標準化やベストプラクティスの拡充に向けて、日立と協力できることを楽しみにしています。

関連サイト

・Hitachi OSPO について
https://www.hitachi.co.jp/products/it/oss/ospo/?ni=260925
・HARC について
https://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/articles/harc/index.html?ni=260925
・HMAX について
https://www.hitachi.co.jp/products/it/lumada/hmax/?ni=260925

商標注記

・記載の組織名、製品名などは、それぞれの組織の登録商標もしくは商標です。

お問い合わせ先

株式会社日立製作所 AI＆ソフトウェアサービスビジネスユニット
お問い合わせフォーム：https://www.hitachi.co.jp/it-pf/inq/NR/

以上